PETER DAVID BETER・音声書簡 第48号

1979年7月30日

テーマ1 スカイラブの表紙の最終章は

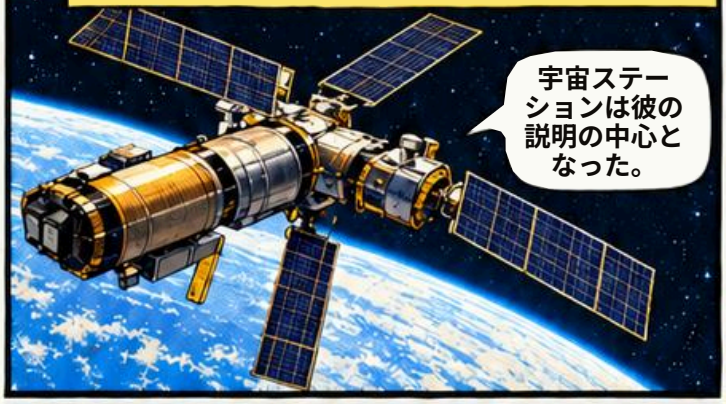
1 ベターは10年前にアポロ11号が着陸したことを思い出した。



2 彼は、月計画がコペルニクス・クレーターの軍事基地を隠蔽したと主張した。



3 彼はアポロ17号の後も月へのミッションを継続していたとスカイラブにリンクした。



4 彼は1977年10月にスカイラブが既に破壊されているという主張を繰り返す。



5 1979年7月11日、公式な再入国を断った。



6 彼は、別の軌道パッケージがオーストラリア上空の光景を演出したと主張した。



7 彼は新聞賞を請求するために持ち込まれた破片の身元を議論した。



8 スカイラブを忘れると、ロシアとの戦争でアメリカの脆弱性を隠すことになると警告した。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第48号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第48号

1979年7月30日

テーマ2 死者の内戦

1 ベターは中東関係とガソリン供給の変化によるロボロイド外交の疑いを訴えた。



2 彼は、SALTイルとスカイラブを、同じ権力のシフトと結びつけた。



3 彼は、SALT IIの上院のポジション変更を、代替の証拠として解釈した。



4 ロボットは短命で、予測不可能で、プログラミングに依存していると彼は言った。



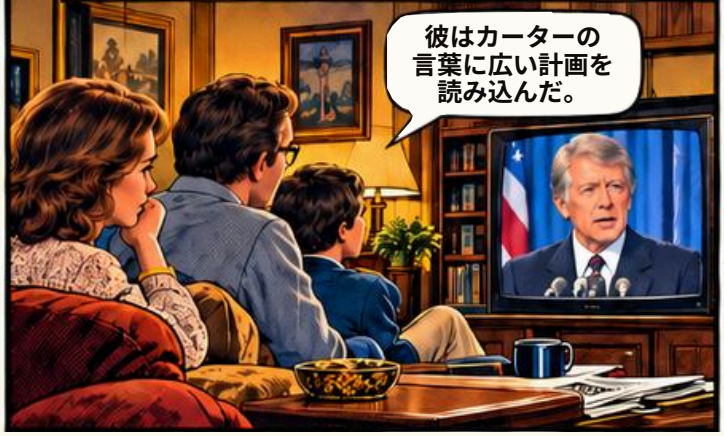
5 彼はカーターのエネルギースピーチを、連続するロボットイドの問題に帰した。



6 彼はキャンプ・デイビッド国内サミットへの訪問者が代わったと主張する。



7 彼は7月15日の演説を、エネルギーと国民精神に関するクレムリンのメッセージとして扱った。



8 彼は閣僚辞任を隠れたロシア支配の別の兆候と解釈した。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第48号・www.peterdavidbeter.com

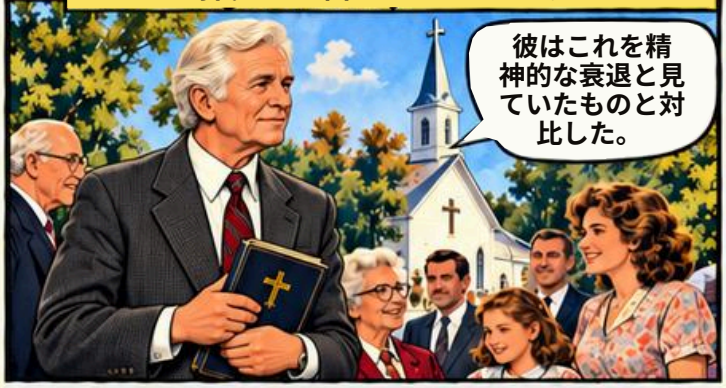
ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第48号

1979年7月30日

テーマ3 アメリカは神への恐怖を再び学ぶようになるでしょう

1 神を恐れることが信頼に値することを意味していた時代を思い出したほうがよい。



2 彼は信仰を義務よりも都合のよいものとして扱うことを批判した。



3 彼はロシアの新しい支配者を犠牲によって形作られたキリスト教徒として描いた。



4 彼はウィーンサミットでブレジネフが神への言及を思い出した。



5 彼は、消費と意味の探求に対するカーターの批判を軽視した。



6 彼は経済的困難、規律、忍耐の必要性を予言した。



7 精神的な強さと勤勉さが困難な時代を抜け出す方法として説明されました。



8 彼は変化を古い生活様式の終わりとして描くことで締めくくった。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第48号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。